

令和7年度 学校図書館基本計画(案)

足立区立舎人第一小学校

校長 土屋 和弘

1 学校教育目標

- よく考えて くふうする子 (自主的・意欲的に学習し、創造性豊かな子ども)
 ○すなおで 思いやりのある子 (人間性豊かで、人権を尊重する子ども)
 ○たくましく やりぬく子 (心身ともに健康で、勤労と責任を重んずる子ども)

2 学校図書館の目標・ねらい 一身に付けさせたい資質・能力、意欲・態度一

- ①読書活動を通して、読書の楽しさを知り、幅広い知識と豊かな感性を身に付ける。
 ②学校図書館の資料を効果的に活用し、目的に応じた情報を選んで課題解決をしようとする能力を高める。
 ③調べ学習やブックトーク、読み聞かせ等を通して様々な本への興味をもって読書を楽しめる児童の育成を図る。

3 学校図書館の現状(昨年度末)

蔵書状況	①蔵書数 10,321冊(蔵書基準冊数9,560冊) / 蔵書率 108%									
	②新規購入図書 716冊 / 廃棄図書 833冊 / 増減冊数 -117冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	2.3%	1.0%	6.9%	7.8%	14.0%	4.1%	4.1%	6.6%	3.1%	50.1%
*国基準	6%	2%	18%	9%	15%	6%	5%	9%	4%	26%
利活用の状況	①開館時間：8時45分から15時30分									
	②児童一人あたりの年間貸出冊数 34.2冊(前々年度：16.68冊)									
	③1か月に2冊以上読む児童 87.4%									

4 目標達成に向けた今年度の重点指導事項・具体的取り組み

第1学年	①物語や昔話、絵本、図鑑など、必要に応じて読み聞かせをしたり、紹介をしたりすることで身の回りにはいろいろな本があることを知り、楽しんで本を読むことができるようにする。 ②学校図書館の利用の仕方を知り、きまりを守って利用することができるようにする。	
	今年度の成果目標	達成基準
第2学年	①読み聞かせや授業で学んだ内容に関する本を知り、自分から本を選び、読むことができる。 ②学校図書館の利用の仕方について知り、週に1度の図書の時間に自分で本を選んで借りることができる。	
	今年度の成果目標	達成基準
第3学年	①読み聞かせや授業で学んだ内容に関する本を知り、自分から本を選び、読むことができる。 ②学校図書館の利用の仕方について知り、週に1度の図書の時間に自分で本を選んで借りたり、正しい場所に返したりできるようにする。	
	今年度の成果目標	達成基準
第3学年	①様々な本や文章があることを知り、読書する本や文章の種類、分野、活用の仕方など、自分の読書の幅を広げていくようにする。 ②すすんで学校図書館を利用し、図鑑や百科事典などで調べる方法を知り、目的に応じて資料を選ぶことができるようにする。	
	今年度の成果目標	達成基準
第3学年	①自分の興味ある本だけでなく、学習に関係する本や、友達から勧められた本なども読むことができる。 ②辞典や図鑑などを活用して分かったことをまとめることができる。	
	今年度の成果目標	達成基準

第4学年	①様々な本や文章があることを知り、読書する本や文章の種類、分野、活用の仕方など、自分の読書の幅を広げていくようにする。また、必要な知識や情報を得ることに読書が役立つことに気付けるようにする。 ②すすんで学校図書館を利用し、図鑑や百科事典などで調べる方法を知り、目的に応じて資料を選ぶことができるようにする。
今年度の成果目標	達成基準
①自分の興味ある本だけでなく、学習に関係する本や、友達から勧められた本なども読むことができる。 ②辞典や図鑑などを活用して分かったことを説明することができる。	①年度末目標冊数 50冊 ②各クラス月2回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。
第5学年	①読書の楽しさや有効性を実感しながら、日常生活の中で主体的・継続的に読書を行えるようにする。 ②学校図書館をすすんで利用し、図書や新聞、その他のメディアを積極的に活用して、目的に応じて正確に資料を選ぶことができるようにする。
今年度の成果目標	達成基準
①興味のある事柄について、適切な本を選び、主体的に読書することができる。 ②複数の本や新聞等を活用しながら探究活動を進め、分かったことや自分の考えをまとめることができる。	①年度末目標ページ 5000ページ ②年間2回以上の調べ学習の実施
第6学年	①読書の楽しさや有効性を実感しながら、日常生活の中で主体的・継続的に読書を行えるようにする。また、読書によって多様な視点から物事を考えることができることに気付けるようにする。 ②学校図書館をすすんで利用し、図書や新聞、その他のメディアを積極的に活用して、目的に応じて正確に資料を選ぶことができるようにする。
今年度の成果目標	達成基準
①興味のある事柄について、適切な本を選び、主体的に読書することができる。 ②複数の本や新聞等を活用しながら探究活動を進め、分かったことや自分の考えをまとめ、表現することができる。	①年度末目標ページ 5000ページ ②年間2回以上の調べ学習の実施

5 学校図書館環境整備に関する取り組み計画・方針

【蔵書・配架等に関すること】

- ・調べ学習の資料となる本に古いものが多いので、計画的に新しいものを購入し、入れ替えていく。
- ・蔵書率の低い分類の書籍から購入し、国基準の蔵書率に近付ける。
- ・古くなった蔵書等、必要冊数に不足がないようにしながら、計画的に廃棄する。
- ・図書ボランティアさんや支援員さんと連携しながら、おすすめの本コーナーを月ごとに設置する。

【学校図書館支援員との連携・協働】

- ・読書月間期間中の昼休みに、委員会児童の取り組みの手伝いをしてもらう。
- ・調べ学習に必要な資料等を学習に応じて学年ごとに要望し、準備してもらう。
- ・図書館支援員が来校時、中休み・昼休みの貸し出しを行う。
- ・図書館支援員に分類法にのっとった分かりやすい書架のレイアウトを提案してもらい、図書ボランティアや委員会児童と連携して図書室の整備を行う。
- ・迷子の本コーナーや整備する本コーナーを設置し、図書の本の整備を行ってもらう。
- ・低学年を中心に授業時間に読み語りを行ってもらう。
- ・4月に学校図書館の使い方のリーフレットを配布してもらう。
- ・国語の年間指導計画に合わせ、4～5月に図書室のオリエンテーションを学年に応じて行ってもらう。

【その他】

- ・通常は2冊ずつの貸し出し、長期の休みには3冊ずつの貸し出しを行う。
- ・舎人図書館の方を招いて学年ごとに「おはなし会」を開く。
- ・学習に応じて、舎人図書館の団体貸し出しを利用する。
- ・調べる学習コンクールに全学年参加し、自分の興味のあるものについて図書館を活用して調べることができるようにする。